

使用文献情報

1. 哺乳類

No.	タイトル等
1	軽井沢町誌 自然編 (1987)
2	軽井沢のホントの自然 (2012)
3	長野県版レッドリスト 動物編 2015 (2015)
4	長野県版レッドデータブック 動物編 2004 (2004)
5	金子・岸本 (2004) 食肉目調査にかかわる捕獲技術
6	山田ほか (2006) 長野県軽井沢町のカラマツ優占林におけるムササビ (<i>Petaurista leucogenys</i>) の食性選択
7	山本 (2019) 血縁関係に着目したツキノワグマの適正な保護管理に向けた研究
8	上原 (1999) 野生ニホンザルの遊動域形成に関する研究 1986 年からの追跡調査を通してみた長野県軽井沢町一帯への野生ニホンザル進出の変遷
9	長澤ほか (2019) 長野県内で捕獲されたアライグマ <i>Procyon lotor</i> とアメリカミンク <i>Neovison vison</i> の寄生蠕虫類保有状況 2002年から2017年までの結果概要
10	南 (2003) 個体レベルの行動研究はどのように野生動物の保全に役立つか
11	南ほか (2021) ツキノワグマによるくくりわなで捕獲されたニホンジカの摂食—長野県軽井沢町の事例—
12	福江・葦田 (2006) 長野県軽井沢町における外来哺乳類の生息状況
13	軽井沢の野生生物 (2002)
14	軽井沢小瀬地域における自然環境調査報告書 (1989)

2. 鳥類

No.	タイトル等
1	細野 (1952) オナガの生活史に関する研究 (9)
2	細野 (1962) 軽井沢町東部地区におけるムクドリの時および就峙行動
3	細野 (1967) オナガの生活史に関する研究 (4)
4	安藤・小笠原 (1971) キジの行動軌跡のテレメトリ
5	軽井沢町誌 自然編 (軽井沢町誌刊行委員会, 昭和62 (1987) 年)
6	中村・重盛 (1990) オオジシギ <i>Gallinago hardwickii</i> の繁殖期における日周活動と社会構造
7	軽井沢の自然 (中村浩志, 平成4 (1992) 年)
8	峰岸 (2007) 録音データの解析により明らかになった軽井沢の鳥類の減少
9	軽井沢のホントの自然 (石塚徹, 平成24 (2012) 年)
10	石塚徹、堀田昌伸 (2012) 長野県におけるオオジシギ <i>Gallinago hardwickii</i> の生息状況とその意義 特に軽井沢と霧ヶ峰の繁殖集団について
11	石塚 (2016) 長野県軽井沢町におけるカナダガン捕獲までの経緯
12	細野 (1991) 長野県鳥類目録 2 —100年の記録—
13	細野 (2000) 長野県鳥類目録 3 —鳥類の記録と繁殖地図—
14	谷野 (1997) 鳥のおもしろ私生活
15	前田朝成 編 (1973) 軽井沢の自然と野鳥
16	前田朝成 編 (1973) 軽井沢の自然と野鳥 続編
17	軽井沢町編 (1980) 軽井沢の花と野鳥百選
18	中村浩志・馬場孝雄・斉藤賢二 (1989) 軽井沢小瀬地域における自然環境調査報告書
19	軽井沢教育委員会編 (2002) 軽井沢の野生生物

3. 両生類・爬虫類

No.	タイトル等
1	軽井沢町誌 自然編 (1987)
2	軽井沢のホントの自然 (2012)
3	長野県版レッドリスト 動物編 2015 (2015)
4	長野県版レッドデータブック 動物編 2004 (2004)
5	軽井沢小瀬地域における自然環境調査報告書 (1989)

4. 魚類

No.	タイトル等
1	軽井沢町誌 自然編 (1987)
2	軽井沢のホントの自然 (2012)
3	長野県版レッドリスト 動物編 2015 (2015)
4	長野県版レッドリスト 動物編 2004 (2004)
5	長野県におけるホトケドジョウの分布・生息環境およびミトコンドリアDNAハプロタイプ (2008)
6	軽井沢小瀬地域における自然環境調査報告書 (1989)

5. 昆虫類

No.	タイトル等
1	Sugi, S. (1955) On the genus Chasminodes Hampson, with discriptions of new species (Lepidoptera, Noctuidae). Kontyû 23 (2): 75-82.
2	福井ほか (1958) 数種の昆虫忌避剤のブユに対する効果について 忌避剤の効果その 1
3	葛谷健 (1967) キマダラモドキの食草
4	黒沢三樹男 (1968) 日本産総翅類の研究4_P1-92
5	高橋 (1970) 日本産キマダラヒカゲ属 Neope に属する二つの種について
6	軽井沢中学校編 (1974) アブの研究.
7	環境庁編 (1980) 日本の重要な昆虫類 甲信越版
8	清沢晴親、早川広文、降旗剛寛、堀勝彦、小林靖彦 編 (1981) 図説長野県のカミキリムシ
9	松本むしの会 (1982) ガイドブック信州の昆虫
10	軽井沢町誌 自然編 (軽井沢町誌刊行委員会, 昭和62 (1987) 年)
11	田下 (1991) ホシミスジ大発生年における成虫の小型化の一例
12	小林ほか (1991) 高冷地におけるコナガの越冬
13	桑澤・吉沢 (1994) 長野県におけるゴルフ場芝害虫の発生状況 (3) 芝を加害するコガネムシ類幼虫の種類
14	浜栄一、栗田貞多男、田下昌志 (1996) 信州の蝶
15	土屋長久 (1998) 軽井沢の蝶と蜻蛉く再復刻版>
16	須賀丈、遠藤知二、坂田宏志、橋本佳明 (2001) 竹筒トラップをもちいた管住性ハチ類の調査による生態影響評価手法の開発. 長野県自然保護研究所紀要 (4) 23-22
17	斎藤・金山 (2001) ブユの生態に関する研究 40. 長野県における秋期のブユ採集成績
18	鎌倉 (2001) 長野県とその周辺のヤトセスジジョウカイ
19	大野 (2001) 日本産主要動物の種別知見総覧 (55) ハセガワトラカミキリ (1)
20	大野 (2002) 日本産主要動物の種別知見総覧 (57) エゾヨツメ (1)
21	岸田泰則 (2002) 長野県軽井沢町迫分の鱗翅類の変遷
22	石塚徹 (2002) 軽井沢のホントの自然
23	遠藤弘志 (2005) 日本産カタカラ全種採集 1年でどのように達成できたか
24	豊嶋 (2007) 露地葉菜類における総合的害虫管理
25	西尾 (2014) Catocala 幼虫の捜し方 (1)
26	栗岩竜男 (2015) 軽井沢の蝶 -20000分の1の視点-
27	栗岩ほか (2016) 長野県軽井沢町における外来生物アカボシゴマダラ (タテハチョウ科) の春型の生息確認
28	渡辺 (2016) 富岡 理氏寄贈の昆虫標本目録
29	グラブシアシリーズ：昆虫の横顔 風変わりなキジラミ 昆虫 (ニューシリーズ) , 21(3): 202-204, 2018
30	信州昆虫学会 (1971) 信濃の蝶 I. セセリチョウ科
31	信州昆虫学会 (1973) 信濃の蝶 II. アゲハチョウ科、シロチョウ科
32	信州昆虫学会 (1976) 信濃の蝶 III. シジミチョウ科、ウラギンシジミ科
33	信州昆虫学会 (1977) 信濃の蝶 IV. タテハチョウ科
34	信州昆虫学会 (1976) 信濃の蝶 V. ジャノメチョウ科、テングチョウ科、マダラチョウ科
35	鳩山邦夫・小川原辰雄 (2014) 信州浅間山麓と東信の蝶.

6. 植物

No.	タイトル等
1	「長野県植物目録」 (長野県植物目録編纂委員会, 平成29 (2017) 年6月)
2	テンナンショウ属の開花・結実・花粉媒介・種子散布―浅間山の事例― (前田夏樹・高橋一秋, 令和3 (2021) 年)
3	軽井沢のホントの自然 (石塚徹, 平成24 (2012) 年)
4	軽井沢の自然 (中村浩志, 平成4年 (1992) 年)
5	軽井沢の植物 (原寛・佐藤邦雄・黒沢幸子, 昭和49 (1974) 年)
6	軽井沢花の図鑑 (佐藤邦雄・田中豊雄, 昭和58 (1983) 年)
7	軽井沢町誌 自然編 (軽井沢町誌刊行委員会, 昭和62 (1987) 年)
8	清水建美監修 長野県植物誌 (長野県植物誌編纂委員会, 平成9 (1997) 年12月25日)
9	中部地方における高原のスゲ属植物 (岡本香, 昭和51 (1976) 年, 9月)
10	長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～維管束植物編 (長野県自然保護研究所・長野県生活環境部環境自然保護課, 平成14 (2002) 3月)
11	もう一度見たい！軽井沢の草原・湿原 (軽井沢サクラソウ会議, 平成17 (2005) 年3月25日)
12	花の軽井沢 (田中豊雄, 平成3 (1991) 年4月20日)
13	軽井沢の花 (佐藤邦雄, 昭和51 (1976) 年7月25日)
14	軽井沢の花2 (佐藤邦雄, 昭和53 (1978) 年7月10日)
15	軽井沢の花と野鳥百選 (佐藤邦雄・野溝龍太郎, 平成2 (1990) 年4月1日)
16	軽井沢小瀬地域における自然環境調査報告書 (日本鳥類保護連盟, 平成元年 (1989) 年2月28日)
17	追分宿郷土館叢書第一集 自然編 追分の身近な植物 (軽井沢町追分宿郷土館, 平成15 (2003) 年6月9日)
18	長野県軽井沢町に残された半自然草原の維管束植物相とその保全管理 (新井勝利・支倉千賀子・小野真・三井裕樹・宮本太, 平成26 (2014) 年3月)